



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日
東

上場会社名 美津濃株式会社 上場取引所
コード番号 8022 URL <https://corp.mizuno.com/jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 水野 明人
問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理財務担当(氏名) 村上 喜弘 (TEL) 06-6614-8465
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	63,528	4.5	6,281	△3.3	6,762	△8.6	4,880	△5.0
2025年3月期第1四半期	60,783	6.3	6,498	21.6	7,398	16.9	5,135	10.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,269百万円(△71.9%) 2025年3月期第1四半期 8,067百万円(19.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	63.60	—
2025年3月期第1四半期	66.95	—

(注) 2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	214,910	157,087	72.7
2025年3月期	218,479	157,121	71.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 156,298百万円 2025年3月期 156,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	90.00	150.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	260,000	8.2	22,500	8.3	23,000	7.7	16,500	8.2
								215.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	79,734,729株	2025年3月期	79,734,729株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,996,999株	2025年3月期	2,996,730株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	76,737,862株	2025年3月期1Q	76,712,314株

(注) 2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善への期待により緩やかな景気回復基調を維持していたものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクと物価上昇による消費者マインドへの悪影響が見られました。海外経済は、米国の通商政策に加えて、地政学的リスクの影響を受け、不透明感が漂っていました。

このような状況の中、当社グループは、国内においてはフットボール、バレーボール等競技スポーツ品や、非スポーツ事業であるワークビジネス事業やスポーツスタイルシューズの売上が好調に推移しました。海外においても、フットボール、バレーボール等の競技スポーツを中心に販売が伸長し、グループ売上高は過去最高となりました。一方で人的資本投資やインフレ等の影響により、販売費及び一般管理費が増加しました。

これらの結果、当社グループの経営成績は、売上高は27億4千4百万円増収（前年同期比4.5%増）の635億2千8百万円、営業利益は2億1千7百万円減益（前年同期比3.3%減）の62億8千1百万円、経常利益は6億3千6百万円減益（前年同期比8.6%減）の67億6千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5千4百万円減益（前年同期比5.0%減）の48億8千万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本は、フットボールやバレーボールなどの競技スポーツ品の販売が好調に推移しました。非スポーツ事業であるワークビジネス事業や、注力しているスポーツスタイルシューズの販売も伸長しました。一方、スポーツ施設サービス事業やダイヤモンドスポーツ事業で売上が減少しました。また、人件費や物流費等の販管費が増加しました。

この結果、売上高は5千4百万円減収（前年同期比0.2%減）の347億4千3百万円、営業利益は8千2百万円減益（前年同期比2.6%減）の30億4千8百万円となりました。

② 欧州

欧州は、主力事業であるランニング事業が好調に推移したことに加え、ゴルフ事業や注力しているスポーツスタイルシューズの販売が伸長しました。

この結果、売上高は過去最高となる14億9千1百万円増収（前年同期比23.0%増）の79億6千5百万円、営業利益は1億1千2百万円増益（前年同期比41.0%増）の3億8千8百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

英ポンド：193.10円（前年同期 197.80円）、ユーロ：160.71円（前年同期 160.89円）、
ノルウェークローネ：13.77円（前年同期 14.05円）

③ 米州

米州は、主力事業であるゴルフ事業が引き続き好調に推移しました。また、規模はまだ小さいものの、フットボールやピクセルボール等の新領域の事業が拡大傾向にあります。一方、人件費や設備投資による減価償却費、物流費等が増加しました。

この結果、売上高は過去最高を更新する5億7千9百万円増収（前年同期比5.1%増）の118億7千3百万円、営業利益は3千万円減益（前年同期比1.8%減）の17億7百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

米ドル：152.94円（前年同期 147.86円）、カナダドル：106.08円（前年同期 110.01円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアは、事業拡大に注力しているフットボール事業が韓国や東南アジアで成長し、またラケットスポーツやバレーボール等のその他競技スポーツ品も売上が拡大しました。スポーツスタイルシューズも販売が伸長し、台湾ではワークビジネス事業が順調に成長しています。販管費をコントロールしたものの、売上総利益率が悪化し減益となりました。

この結果、売上高は過去最高となる7億2千8百万円増収（前年同期比8.9%増）の89億4千5百万円、営業利益は2億7千8百万円減益（前年同期比20.2%減）の11億円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

台湾ドル：4.64円（前年同期 4.71円）、香港ドル：19.66円（前年同期 18.90円）、
中国元：20.98円（前年同期 20.55円）、豪ドル：95.35円（前年同期 97.61円）、
韓国ウォン（100ウォンあたり）：10.45円（前年同期 11.15円）、
米ドル（シンガポール）：152.94円（前年同期 147.86円）、
泰バーツ：4.50円（前年同期 4.16円）

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億6千8百万円減少し、2,149億1千万円となりました。現金及び預金が35億9千5百万円増加した一方、商品及び製品が48億7百万円、売掛金が26億5百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ35億3千5百万円減少し、578億2千2百万円となりました。未払金及び未払費用が22億4千3百万円、支払手形及び買掛金が10億7千1百万円、それぞれ減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3千3百万円減少し、1,570億8千7百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の71.6%から72.7%へと1.1ポイント増加しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,399	35,994
受取手形	4,640	4,467
売掛金	46,081	43,475
商品及び製品	50,743	45,935
仕掛品	680	1,317
原材料及び貯蔵品	6,701	5,759
その他	6,876	7,306
貸倒引当金	△702	△757
流動資産合計	147,421	143,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,107	16,930
土地	14,149	14,166
その他（純額）	8,488	8,723
有形固定資産合計	39,744	39,819
無形固定資産		
のれん	852	784
その他	5,332	5,489
無形固定資産合計	6,185	6,274
投資その他の資産		
投資有価証券	9,569	9,879
繰延税金資産	1,591	1,488
退職給付に係る資産	11,615	11,736
その他	2,631	2,493
貸倒引当金	△280	△280
投資その他の資産合計	25,127	25,317
固定資産合計	71,058	71,411
資産合計	218,479	214,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,166	15,094
短期借入金	2,056	1,670
1年内返済予定の長期借入金	3,828	2,828
未払金及び未払費用	14,574	12,331
未払法人税等	2,586	1,912
その他	3,357	4,823
流動負債合計	42,571	38,659
固定負債		
長期借入金	7,608	8,492
繰延税金負債	3,189	2,912
再評価に係る繰延税金負債	1,785	1,785
退職給付に係る負債	568	610
資産除去債務	300	300
その他	5,334	5,059
固定負債合計	18,786	19,162
負債合計	61,358	57,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,921	31,921
利益剰余金	83,118	85,696
自己株式	△1,864	△1,865
株主資本合計	139,311	141,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,504	3,661
繰延ヘッジ損益	391	△56
土地再評価差額金	△353	△353
為替換算調整勘定	11,264	8,981
退職給付に係る調整累計額	2,229	2,175
その他の包括利益累計額合計	17,036	14,408
非支配株主持分	772	789
純資産合計	157,121	157,087
負債純資産合計	218,479	214,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	60,783	63,528
売上原価	35,557	36,732
売上総利益	25,225	26,795
販売費及び一般管理費	18,726	20,513
営業利益	6,498	6,281
営業外収益		
受取利息	49	41
受取配当金	134	164
為替差益	715	13
投資事業組合運用益	-	119
その他	79	231
営業外収益合計	979	570
営業外費用		
支払利息	39	65
支払手数料	9	-
その他	30	23
営業外費用合計	79	89
経常利益	7,398	6,762
特別利益		
固定資産売却益	13	1
特別利益合計	13	1
特別損失		
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	7,409	6,763
法人税等	2,195	1,807
四半期純利益	5,214	4,955
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,135	4,880

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	5,214	4,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	443	156
繰延ヘッジ損益	315	△447
為替換算調整勘定	2,147	△2,340
退職給付に係る調整額	△54	△54
その他の包括利益合計	2,852	△2,686
四半期包括利益	8,067	2,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,971	2,252
非支配株主に係る四半期包括利益	95	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	34,797	6,473	11,293	8,217	60,783
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,559	—	9	985	2,554
計	36,357	6,473	11,303	9,202	63,337
セグメント利益	3,131	275	1,738	1,379	6,524

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,524
セグメント間取引消去及びその他の調整額	△26
四半期連結損益計算書の営業利益	6,498

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	34,743	7,965	11,873	8,945	63,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,840	—	3	820	2,664
計	36,583	7,965	11,876	9,766	66,192
セグメント利益	3,048	388	1,707	1,100	6,246

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,246
セグメント間取引消去及びその他の調整額	35
四半期連結損益計算書の営業利益	6,281

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	679百万円	761百万円
のれんの償却額	26百万円	24百万円